

基本目標①：子育て・教育・人権

施策 2：青少年の健全育成

施策目標

家庭、学校、地域、関係機関が一体となった社会の中で、青少年の自主性や自立性と豊かな感性が育まれています。

現状・課題

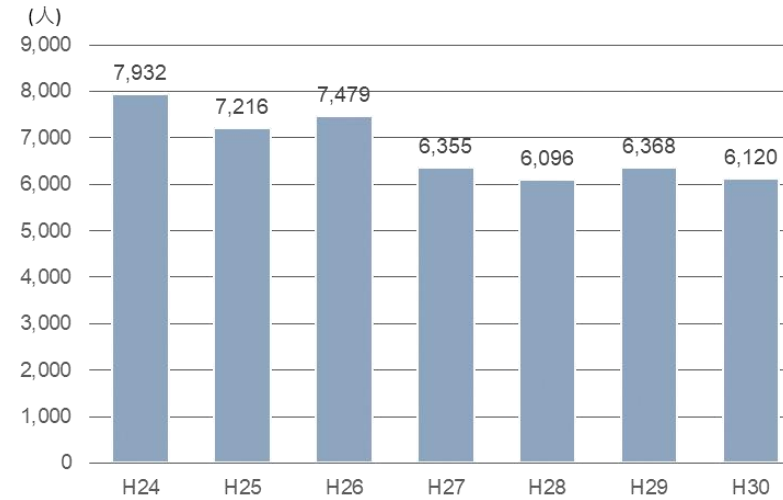
青少年期は豊かな人間性をはぐくみながら、一人の人間としての自立を促す重要な時期にあたりますが、情報化の進展や共働き世帯の増加などの家族のあり方の変化、地域のつながりの希薄化など、青少年を取り巻く環境は激しく変化しています。

青少年の健全育成のため、子どもの居場所づくりや交流活動への取組を継続するとともに、今後は、子どもが自由に活動する場を提供し、主体的に学び成長できるような育てる支援へ転換していく必要があります。

また、団体の後継者の確保が課題となっており、子どもも大人も主体的に活動に関われるような場所と機会を提供し、次代の地域活動の担い手を育成していくことが求められています。

すべての青少年が心身ともに健やかに成長していけるよう、家庭、学校、地域、関係機関が一体となって連携し、非行の防止やひきこもり等への支援を着実にを行う必要があります。

■地域子ども教室の参加人数の推移



(資料) 野洲市総合計画ロードマップより

取組方針

① 青少年の自主性を育てる機会や場の提供  
青少年が自主的・主体的に学び活動できるよう支援を行い、活動を通して担い手の育成に取り組みます。

② 非行の防止やひきこもり等への支援  
青少年を有害な情報や犯罪から守り、非行の未然防止やひきこもり等への支援に地域全体で取り組みます。

主な取組

放課後や週末等における地域の子どもの安全・安心な活動拠点（居場所）の確保、地域の多様な大人が参画する様々な体験・交流・学習活動の子どもたちへの提供、等

地域・青少年活動団体・少年センター・警察等と連携した青少年の健全育成や非行防止の取り組みの推進、情報発信や相談支援体制の整備、等

指標

関連する主な市の計画

指標	現状値	目標値 (5年後)
① 地域子ども教室の参加人数	6,827 人	7,252 人
② 少年センターの相談件数	554 件	

(指標のそのものや現状値、目標値等の解説)

- 教育振興基本計画
- 生涯学習振興計画